

神の怒りと刑罰

キリストは世を裁くために再び来られる...

主は義によって世界をさばき、公正をもって国民にさばきを行われる。

(詩篇9：8)

主の日は盗人のようにやって来ます。その日には、天は大きな響きをたてて消えうせ、天の万象は焼けてくずれさり、地と地のいろいろなわざは焼き尽くされます。

(ペテロ第二3：10)

神に隠せおおせるものは何一つない...

主は闇の中に隠れた事も明るみに出し、心の中のはかりごととも明らかにされます。

(コリント第一4：5)

主はすべての心を探り、すべての思いの向かうところを読み取られるからである。

(歴代誌I 28：9) 造られたもので、神の前で隠れおおせるものは何一つなく、神の目には、すべてが裸であり、さらけ出されています。私たちはこの神に対して弁明をするのです。

(ヘブル4：13)

神の怒りから逃れる方法はない...

彼らはみな氣力を失い、彼らのひざもみな震え...恐怖に包まれ...、恥じて顔を赤くし...、銀も金も、主の激しい怒りの日に彼らを救い出すことはできない。

(エゼキエル7：17～19)

あなたは自分の悪に拠り頼み、『私を見る者はない』と言う。あなたの知恵と知識、これがあなたを迷わせた。だから、あなたは心の中で言う。『私だけは特別だ。』

しかしわざわざがあなたを見舞う。それを払いのけるまじないをあなたは知らない。災難があなたを襲うが、あなたはそれを避けることはできない。破滅はあなたの知らないうちに、突然あなたにやって来る。

(イザヤ47：10～11)

わたしは惜しまず、あわれまない。わたしがあなたの行いに仕返しをし、あなたのうちの忌みきらうべきわざをあらわにするとき、あなたがたは、わたしがあなたがたを打っている主であることを知ろう。

(エゼキエル7：9)

裁きの時...そして、地獄の刑罰...

また私は、大きな白い御座と、そこに着座しておられる方を見た。地も天もその御座の前から逃げ去って、あとかたもなくなった。また私は、死んだ人々が、大きい者も、小さい者も御座の前に立っているのを見た。そして、数々の書物が開かれた。また別の一つの書物も開かれたが、それは、いのちの書であった。死んだ人々は、これらの書物に書きしるされているところに従って、自分の行いに応じてさばかれた。海はその中にいる死者を出し、死もハデスも、その中にいる死者を出した。そして人々はおのおの自分の行いに応じてさばかれた。それから、死とハデスとは、火の池に投げ込まれた。これが第二の死である。いのちの書に名のしるされていない者はみな、この火の池に投げ込まれた。

(黙示録20：11～15)

おくびょう者、不信仰の者、憎むべき者、人を殺す者、不品行の者、魔術を行う者、偶像を拝む者、すべて偽りを言う者どもの受ける分は、火と硫黄との燃える池の中にある。これが第二の死である。

(黙示録21：8)